

- 問1 明治政府が近代国家の仕組みを整えていく過程において、1868年の「五箇条の御誓文」から1889年の「大日本帝国憲法」発布に至るまでの政治の流れを説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 文明開化の影響で国民の政治への関心が失われたため、政府は国会を開設せずに内閣制度だけで統治した
 2. 欧米の技術を取り入れるために、憲法の制定よりも鎖国体制の維持を優先し、武士の身分を強化した
 3. 王政復古の号令によって直ちに国会が開設され、その直後に廃藩置県によって地方自治が完成した
 4. 広く会議を興すという方針が示された後、自由民権運動の高まりを受けて国会開設が約束され、立憲国家の体制が整えられた
- 問2 1869年に実施された、土地と人民を天皇に返上させた政策（版籍奉還）が行われた後の状況として、正しい説明はどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 武士の特権がすべて廃止され、軍隊への入隊を義務付ける徴兵令が同時に施行された。
 2. 旧藩主が新たに「知藩事」に任命され、引き続きその土地の統治にあたった。
 3. 土地の所有者に地券が交付され、地価の3%を現金で納税する義務が生じた。
 4. 藩が完全に廃止されて県が置かれ、中央から府知事や県令が派遣された。
- 問3 1872年に新橋・横浜間で開通した日本初の鉄道について、その歴史的背景や目的を説明した記述として最も適切なものを、次のうちから選んでください。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 「文明開化」の風潮のなか、欧米の優れた技術を導入して日本の近代化を世界に示す目的があった。
 2. 「地租改正」による税制の安定化を待ってから、民間の資本のみによって全線が建設された。
 3. 「富国強兵」の一環として、北海道の炭鉱から石炭を輸出港へ運ぶために最初に整備された。
 4. 「廃藩置県」に反対する土族の反乱を鎮圧するため、兵士を迅速に輸送することを最大の目的として建設された。
- 問4 明治政府が1873年に公布した法令において、それまでの武士が軍事を担う仕組みから、身分に関わらず満二十歳以上の男子が軍務に服するという近代的な制度へと移行した。この法令の目的と社会への影響について説明したものと、最も適切なものはどれか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
1. 農村の労働力を確保するために、農民の長男のみを軍隊へ招集し、次男以下は農業に従事させた。
 2. 旧幕府軍の反乱を抑えるために、士族以外の身分が武器を持つことを厳しく制限した。
 3. 武士の特権を保護するために、武士のみに最新の兵器の使用を許可し、国防を強化しようとした。
 4. 国民皆兵を原則として、身分を問わず広く兵員を確保することで近代的な軍隊を組織しようとした。
- 問5 明治政府が設置した開拓使による都市計画が進められた札幌市中心部において、その景観を俯瞰した際に見られる、建物の配置や道路の区画に関する特徴として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 自然の地形に合わせて曲線的に住宅が配置された街並み
 2. 寺社を中心に放射状に道路が伸びる門前町のような街並み
 3. 碁盤の目状に規則正しく道路が区画された街並み
 4. 敵の侵入を防ぐためにわざと道を複雑に曲げた城下町のような街並み
- 問6 1868年に日本で明治維新が始まった時期に、世界で起こっていた主な出来事として、時期が最も近いものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. フランス革命
 2. ロシア革命
 3. 南北戦争
 4. アヘン戦争
- 問7 1870年代、明治政府は財政を安定させるために地租改正を実施しました。この際、政府が土地の所有権を認める証書として、土地所有者に発行した権利証を何といいますか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 地券
 2. 公地公民
 3. 株仲間
 4. 免状
- 問8 明治新政府が発足した直後の1868年、民衆に対して江戸時代からの政策を引き継ぎ、キリスト教の信仰を厳しく禁止するなどの内容を記した公定の立て札を何といいますか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 五榜の掲示
 2. 王政復古の号令
 3. 廃藩置県
 4. 五箇条の御誓文
- 問9 明治政府が新橋と横浜の間に日本初の鉄道を敷設した背景や目的として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 欧米の技術を導入することで、近代化（文明開化）の成果を国内外に示すため
 2. 全国の藩主が参勤交代を行うための移動手段を確保するため
 3. 江戸時代の鎖国体制を強化し、外国人の移動を制限するため
 4. 北海道の石炭を効率よく東京へ運ぶためのルートを確立するため
- 問10 明治政府が租税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した目的として、最も適切な背景を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 農村における地主の権限を弱め、すべての農民を自作農にするため。
 2. 豊作や凶作、あるいは米価の変動に影響されず、政府の収入を安定させるため。
 3. 貨幣経済の浸透を防ぎ、江戸時代のような物価の安定を図るため。
 4. 米の生産量を全国一律に管理し、食糧不足を解消するため。
- 問11 幕末から明治時代にかけて、欧米諸国の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家で、『学問のすゝめ』を著して個人の自立と実学の重要性を説いた人物は誰ですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 板垣退助
 2. 福沢諭吉
 3. 中江兆民
 4. 吉田松陰
- 問12 1871年に欧米へ派遣された岩倉使節団の目的の一つとして、江戸時代末期に結ばれた不平等条約の改正に向けた予備交渉がありました。この使節団を率いた特命全權大使と、同行した女子留学生のうち最年少で、後に女子英学塾（現在の津田塾大学）を創立して女子教育に貢献した人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
1. 福沢諭吉 と 津田梅子
 2. 岩倉具視 と 津田梅子
 3. 岩倉具視 と 樋口一葉
 4. 福沢諭吉 と 樋口一葉
- 問13 徳川慶喜が政権を朝廷に返上した「大政奉還」から、天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した「王政復古の号令」に至るまでの時期、徳川慶喜が抱いていた政治的な構想とその結末について説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. 武家諸法度を強化することで諸大名の離反を防ぎ、朝廷と幕府が合体した公武合体による長期政権を確立させた。
 2. 政権を返上しても、有力大名による会議の議長として実質的な主導権を維持できると考えていたが、倒幕派による武力背景の宣言により排除された。
 3. 天皇に対して將軍職の継続を強く求め、朝廷内に徳川家を支持する勢力を増やすことで、倒幕派の動きを完全に沈静化させた。
 4. 政権返上と同時に全ての領地と軍隊を放棄し、薩摩藩や長州藩と協力して平和的な近代国家の建設を最優先に進めた。